

【岐阜県内の景気動向】

平成 28 年 9 月

岐阜県内の景気動向は、【図 1】に示すように、平成 22 年 1 月の指数を 100 (基準年月) とし、徐々に上昇してまいりましたが、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災、と翌年 4 月からの消費税率の 8% への引き上げは、岐阜県内の景気動向指数を大きく左右して推移してまいりました。

平成 28 年 4 月の指数では、基準年月指数を 13 ポイント上昇するに迄至っています。

また、平成 28 年 4 月～6 月期の売上高 DI は、製造業が 6.1 ポイント改善、非製造業は、4.8 ポイント減少となっています。【図 2 参照】

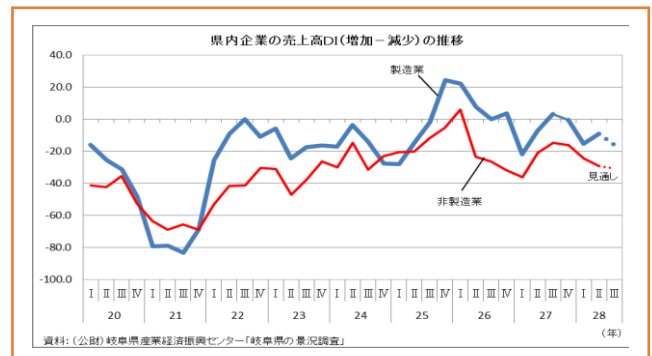
【図 1】 岐阜県景気動向指数の推移表

出典：岐阜県統計課



【図 2】 県内企業の売上高 DI の推移表

出典：(公財) 岐阜県産業経済振興センター

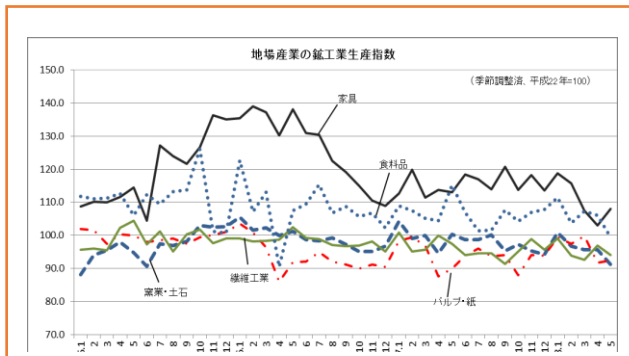


【岐阜県内製造業の現状】

◎地場産業の (家具・パルプ、紙) は、上昇しているものの、他の全てが下降となっています。

【図 3】 地場産業の鉱工業生産指数表

出典：岐阜県統計課



製造作業風景



☆ 主な要因 ☆ (ぎふ経済レポートより抜粋)

◇木 工 ・売上は、前年比 10%程度増加するも、一昨年水準には回復していない。

・住宅着工件数の減少が要因であると考えられます。

◇紙 業 ・売上は、前年比 105%、受注は同 107%と好調で、昨年に続き、大幅な設備投資により製造業作業風景 生産効率を上げています。

◇食品-酒類 ・売上は前年比微増。新商品を断続的に市場に送り込むことで、顧客獲得に努めています。

◇アパレル ・売上は前年比減少傾向にあり需要が少なく、パイの奪い合いとなっています。

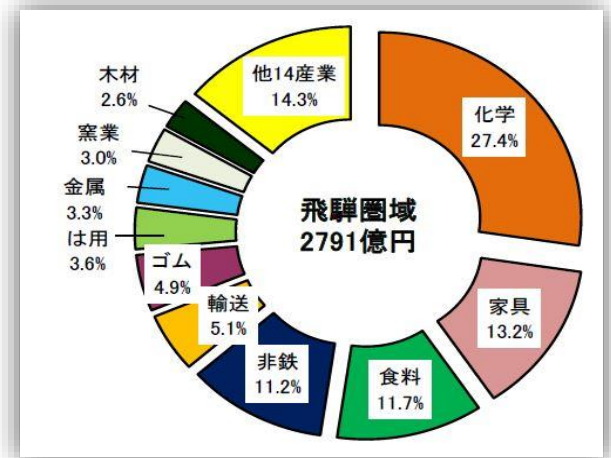
【飛騨圏域の産業別製造品出荷額】

平成 26 年度の飛騨圏域、製造品出荷額等は 2791 億円で、前年に比べ 53 億円（前年比 1.9%）増加している。

産業別構成でみると、化学工業が 765 億円（構成比 27.4%）と最も多く、次いで家具・装備品製造業が 368 億円（同 13.2%）、食品製造業が 327 億円（同 11.7%）などとなっています。

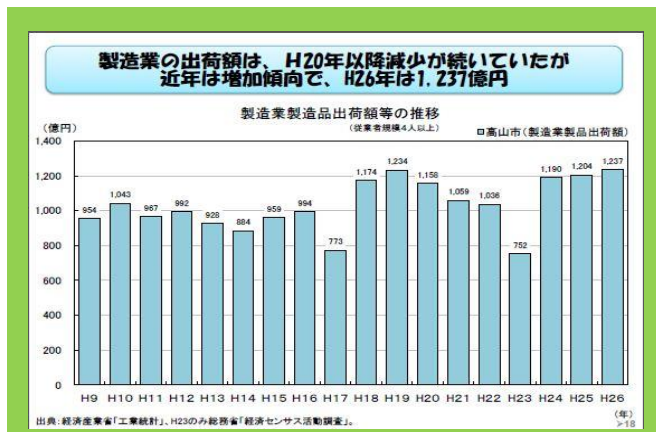
製造品出荷額等の産業別構成（従業者 4 人以上）

出典：岐阜県統計課

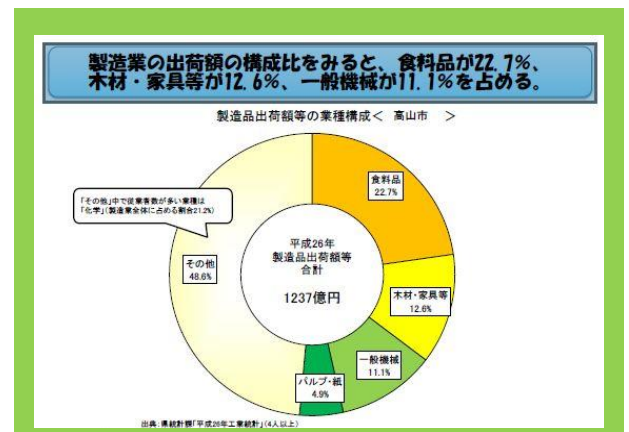


【高山市の製造業の現況と需要動向】

製造業製造品出荷額等の推移 出典：経済産業省



製造品出荷額等の業種構成 出典：岐阜県統計課

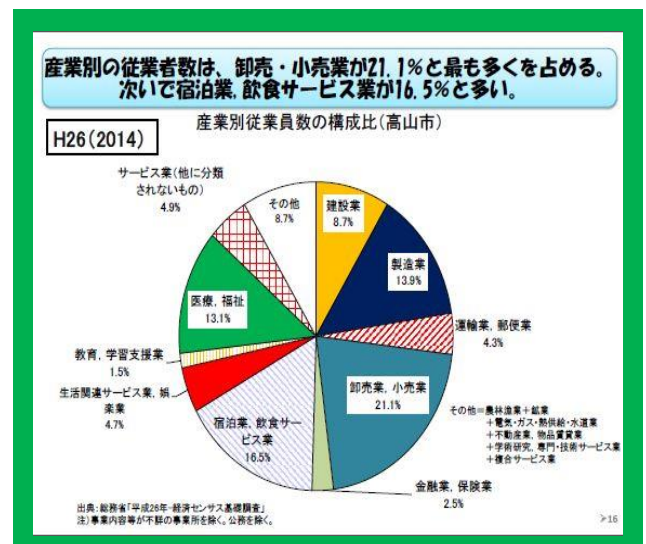


高山市の平成 26 年度製造業製造品年間出荷額は、上記に示すように 1237 億円で、出荷額の構成比を見ると食料品が 22.7%、木材・家具等が 12.6%、一般機械が 11.1%を占めています。

製造業従業者数の推移 出典：経済産業省「工業統計」

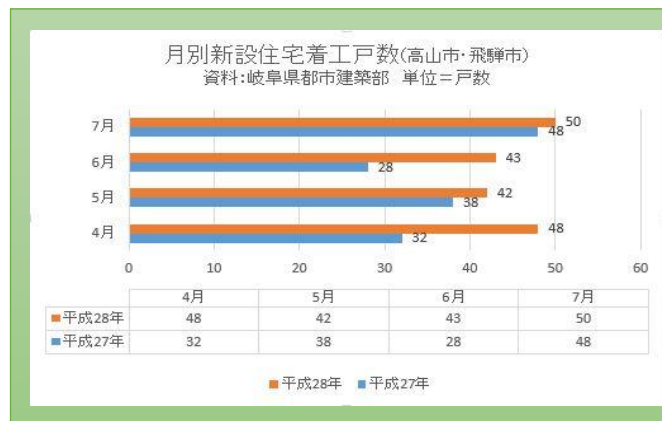


産業別従業員数の構成 出典：総務省「26 経済センサス」



高山市の平成 26 年度製造業従業員数は、5,267 人産業全体の 13.9%を占めています。

【製造業の需要見込み】



岐阜県内の需要動向につきましては、消費税率引き上げ延期と日銀のゼロ金利政策は、住宅建築の着工に影響を与えています。

しかし、高山市・飛騨市では左記資料に見るように住宅着工戸数も順調に推移しているため、付随する家具や装備品の需要が今後も見込まれます。

平成 27 年度観光統計 (高山市観光統計の一部)

平成 27 年の観光客入込客数は 434 万 1 千人で、前年度より 7.85% の増加となりました。

宿泊・日帰り別観光客は、宿泊客数が 207 万 1 千人でした。宿泊客数の場合は前年より減り 47.71% (前年 49.71%) 日帰り客数の場合は増え 52.29% (前年 50.29%) となりました。平成 27 年に引き続き、日帰り客数が宿泊客数を上回る結果となっています。

観光客入込客数は、堅調外国人観光客数の増加と、官民一体となつてのさまざまな誘客キャンペーンやイベントを実施したこと等の増加要因により対前年比 7.85% の 434 万 1 千人となり過去最高の入込客数だった平成 19 年の 434 万 5 千人に迫る入込となりました。

高山市観光客入込状況

資料:高山市観光課 単位=千人



高山市観光消費支出額(一人当たり)

資料:高山市観光課 単位=円



【 総 論 】

本年度の(高山市・飛騨市)新設住宅着工数も好調であることや、観光客の増加から一人当たりの観光消費支出も平成 27 年度は、38,828 円と前年に比べ伸びています。(資料:高山市観光課 年間消費総額=82,043,000 千円) また、飛騨の工芸品や家具、酒、食品は人気が高く最近では、外国人観光客に日本酒が好評で、特産品の需要を向上させています。

このように経済動向や需要動向を的確に把握し、対処していくことが今後の経営改善に繋がるため、今後も情報提供を行って参ります。

【お問合せ先】高山北商工会本所 (国府) 0577-72-4130
丹生川支所 // 78-2002
上宝支所 0578-86-2354

